

探訪 チャレンジ企業 32

舗装空間と立体空間の コーディネーター

サンコー企画株式会社：津幡町

一 道路標示業界の福音 —オートマンの助っ人—

道路標示施工業界では、サンコー企画(株)が製造するクイックシートに対して評価が高い。今までは、文字や図形を路面に直接ペンキで描いていたため、施工時間が長く交通量の多い道路では、時に危険を感じずることもあった。しかし、クイックシートは、予め工場打ち抜いて現場に持ち込み貼りつけるという方法をとるため施工時間が大幅に短縮され、安全性も高い。色別にシートを打ち抜き、組み合わせることもでき



るので、多色化も可能である。簡単に貼ってはがれにくく、仕上がりがきれいで、厚味をもつため、耐久性も高い。施工業界が永年待ち望んだ製品であり、開発と同時に「オートマン(作業者の助っ人)として、大きな反響を呼んだ。

二 素晴らしきリトル カンパニーを目指して —創業の経緯—

同社社長、谷龍男氏は、もととは石川県の出身ながら、静岡県のある大手自動車メーカーに勤務していた。しかし四十一才を前にして「自分は大企業で組織の一つの歯車で過ごすより、小さな企業で自分を生かしたい」との思いから、創立後わずか六月余りの従業員六名の土木建材商社に転職、三年後道路標示用塗料の生産販売部門を開設し北海道から九州まで、

広く営業網の拡充を重ねて来た。永年、営業に携わっているうちに顧客に満足して喜んでいただき、信頼される企業創りをしたいとの思いから、五十五才を契機に地元に戻って、念願の独立を果たした。本社は平成五年に金沢市足田に置いたが、事業拡大に伴って平成九年十月に現在地の津幡町旭山工業団地へと移転したのである。

三 クイックシートの特徴 —より美しく、より簡単に、より 経済的に、より耐久性が高い—

同社主力製品のクイックシートは、原図をコンピュータで描き、表示された通りに、ロール状の原反をプレスで打ち抜いて、品目によっては、ガラスを加えるなどの表面加工を施して完成させる。数種類の異なった色彩の打ち抜きを組み合わせることで、カラフルな図形を描くことも可能である。施工する路面によって、ハンマーで叩いて圧着させる貼付方式と、バーナーで加熱溶融して接着させる



社長の谷龍男氏

溶融方式を使いわけると。それにガラスビーズを組み込んで反射させる「高輝度反射シート」や、表面が特殊なすべり止め層で構成される「すべり止めシート」などのバリエーションがある。いずれの方式も耐摩耗性にすぐれ、従来の工法に較べて耐久性が格段に向上した。

また、立体面への施工も可能であり、店舗や公共施設的美観向上や伝達事項の表示等にも広く利用されている。納期については、規格品及び少ロットの規格品外においても即日納品を可能にし、全国施工会社の納期も施工日必着体制を確立、スピードというサービスを提供している。

四 未来へ向けて —店舗メンテ等の事業化—

同社製品は、公共事業向けが主力であり、全国の施工業者一五〇〇社のうち、すでに八九〇社へ継続的に納入されている。また、自社でも公共事業を主力とした施工部門を有しているが、昨年創立十周年を期に今後の発展の鍵は民需にあるとの方針から地場に密着した北陸事業部を新設した。店舗壁面への施工や、駐車場のアスファルト補修、更には車止めの設置などを、「店舗メンテ」と名付けてひとくくりにし、多様な製品の開発と施工に取り組んでいる。また、環境管理にも力を



道路標示

横断歩道用シート

入れ、「廃棄物ゼロ」を目指して、いろいろな取り組みも始めたところである。

官公需、民需に対応して、新しい分野に挑戦し、次々と新製品を生み出していく同社の積極的な経営姿勢は、日本経済再生へ向けての中小企業の新たな取り組みの方向を示唆するものであろう。

本年二月ISO取得。限りなく顧客信頼を求め続けることを企業理念としている。
(お問い合わせ)

サンコー企画株式会社

〒九二九一〇四四七

石川県河北郡津幡町

旭山一―二

TEL〇七六一―二八九―六六三九

FAX〇七六一―二八九―六六三七

http://www.sanko-kikaku.com

e-mail:sanko-p@sanko-kikaku.com

このコーナーでは石川の「チャレンジ企業」を応援しています。取材を希望される方は最寄りの商工会をお訪ねください。